

## 2022（令和4）年度 清教学園幼稚園 園評価

### 1 めざす幼稚園像

「一人ひとりの賜物を生かす」愛ある教育  
「神なき教育は 知恵ある悪魔をつくり 神ある教育は 愛ある知恵に人を導く」 → めざす子ども像「神様と人々に愛される子ども」  
イエスさまの愛の教えに基づき、神様に愛されている子どもたち一人ひとりを大切に育てていくことを教育の基本とします。  
・楽しい表現活動や英語活動を通して、創造力と国際感覚を豊かに育てます。  
・栽培活動や徒歩通園を通して、自然とのかかわり、交通安全、たくましい心と身体を育てます。

### 2 中期的目標：教育計画における重点項目

保育・教育の質向上  
◆清教型プロジェクト保育（設定されたテーマに沿って、園児が主体的に学ぶことを重視した教育保育手法）を実践し、下記の成長目標を目指す。  
・自分が愛されていることを知り、周りの人たちも思いやれる子ども  
・自分の思いや考えを豊かに表現できる子ども  
・たくましい心と体を持ち、色々な事にチャレンジすることができる子ども

### 【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析							学校評価委員会からの意見																																																																																																																																		
<p>○各部門に関するアンケート結果（対象者：保護者、回答率 65,2%前年度〈68,9%〉）</p> <p>*表中の評価（満足度）は下記計算式から算出されたもの。 満足度 = 1 × A 回答数 + (2/3) × B 回答数 + (1/3) × C 回答数 + 0 × D 回答数 *評価 A,B,C,D は右記により算出（100%満点 90%以上 S 評価 80%以上 A 評価 60%以上 B 評価 40%以上 C 評価 40%以下 D 評価）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>A (%)</th> <th>B (%)</th> <th>C (%)</th> <th>D (%)</th> <th>満足度</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">運営</td> <td>保護者対応</td> <td>78.2%</td> <td>19.6%</td> <td>1.8%</td> <td>0.4%</td> <td>94 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>安心感</td> <td>73.3%</td> <td>25.3%</td> <td>1.3%</td> <td>0.0%</td> <td>93 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>保護者の要望</td> <td>50.2%</td> <td>40.0%</td> <td>8.0%</td> <td>1.8%</td> <td>85 %</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>情報共有</td> <td>78.7%</td> <td>19.6%</td> <td>1.8%</td> <td>0.0%</td> <td>94 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>ケガの対応</td> <td>75.6%</td> <td>22.7%</td> <td>1.3%</td> <td>0.4%</td> <td>93 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>相談対応</td> <td>61.3%</td> <td>32.9%</td> <td>5.3%</td> <td>0.4%</td> <td>89 %</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>重要事項の説明</td> <td>61.3%</td> <td>35.1%</td> <td>3.1%</td> <td>0.4%</td> <td>89 %</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">環境</td> <td>園内美化</td> <td>73.8%</td> <td>25.3%</td> <td>0.4%</td> <td>0.4%</td> <td>93 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>設備の充実</td> <td>63.6%</td> <td>34.7%</td> <td>1.3%</td> <td>0.4%</td> <td>90 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>安全環境の維持</td> <td>68.0%</td> <td>29.8%</td> <td>1.8%</td> <td>0.4%</td> <td>91 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">子育て支援等</td> <td>個人情報の取扱い</td> <td>78.7%</td> <td>19.6%</td> <td>1.8%</td> <td>0.0%</td> <td>94 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>広報（HP）</td> <td>77.3%</td> <td>20.4%</td> <td>2.2%</td> <td>0.0%</td> <td>94 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>園だより</td> <td>72.9%</td> <td>20.4%</td> <td>5.3%</td> <td>1.3%</td> <td>91 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>ホームクラス（2・3号）</td> <td>64.2%</td> <td>33.0%</td> <td>1.8%</td> <td>0.9%</td> <td>90 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>課外教室</td> <td>45.8%</td> <td>33.8%</td> <td>15.6%</td> <td>4.9%</td> <td>80 %</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>子育て支援</td> <td>72.7%</td> <td>20.5%</td> <td>0.0%</td> <td>6.8%</td> <td>90 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>入園への推奨</td> <td>61.8%</td> <td>30.7%</td> <td>6.7%</td> <td>0.9%</td> <td>88 %</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table>							項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	満足度	評価	運営	保護者対応	78.2%	19.6%	1.8%	0.4%	94 %	S	安心感	73.3%	25.3%	1.3%	0.0%	93 %	S	保護者の要望	50.2%	40.0%	8.0%	1.8%	85 %	A	情報共有	78.7%	19.6%	1.8%	0.0%	94 %	S	ケガの対応	75.6%	22.7%	1.3%	0.4%	93 %	S	相談対応	61.3%	32.9%	5.3%	0.4%	89 %	A	重要事項の説明	61.3%	35.1%	3.1%	0.4%	89 %	A	環境	園内美化	73.8%	25.3%	0.4%	0.4%	93 %	S	設備の充実	63.6%	34.7%	1.3%	0.4%	90 %	S	安全環境の維持	68.0%	29.8%	1.8%	0.4%	91 %	S	子育て支援等	個人情報の取扱い	78.7%	19.6%	1.8%	0.0%	94 %	S	広報（HP）	77.3%	20.4%	2.2%	0.0%	94 %	S	園だより	72.9%	20.4%	5.3%	1.3%	91 %	S	ホームクラス（2・3号）	64.2%	33.0%	1.8%	0.9%	90 %	S	課外教室	45.8%	33.8%	15.6%	4.9%	80 %	A	子育て支援	72.7%	20.5%	0.0%	6.8%	90 %	S	入園への推奨	61.8%	30.7%	6.7%	0.9%	88 %	A	<p>学校法人清教学園評議員会をもって学校関係者評価委員会とする。なお、評議員の選定は、寄附行為に基づき、学識経験者、学園卒園生、および学園教職員の3つの枠を設けた上で行われている。</p> <p>2022（令和4）年度については、2023（令和5）年3月25日に学校関係者評価委員会を開催。</p> <p>&lt;意見&gt;</p> <p>◆急激な変化の対応等に、不安感を感じられている保護者がおられるようですが、基本、先生の質がよくて安全であると認識していただければ、新入園者の獲得など、今後の運営にもポジティブに働くであろうと考えられますし、なにより教職員の方々への一番のモチベーションに繋がると考えられます。</p> <p>◆自園給食について、多彩な味覚を養うという教育目標をもって、「喜ぶ」「おいしい・おいしくない」の基準は多少あっても、「新しい味に出会い、おいしいと学んだ」という教育目標基準も取り入れていただきたいです。</p> <p>◆項目「要望」について、すべての要望を受け入れて実行することは困難であるし、Aを特に増やすということではなく、C以下を減らしてB以上を増やし、全体的に満足度が高いという評価内容を継続して得ていくような方向性が最適かと考える。</p> <p>◆満足度の回答（A・B）の割合は全ての項目が8割超となっていることは、園の活動が支持を得られていることを示していると言えるように思う。</p> <p>◆長年にわたり美術造形教育を柱として活動を続けてこられたことを改めて思い返しつつ、近年新たな柱として位置づけられている英語教育もまた、そのような存在感に昇華されることを期待したい。</p> <p>◆キリスト教主義の園として、また市内の最大規模の保育教育施設として、その理念を大切にしつつ、安定的に運営を続けられるよう、今回の結果に満足しすぎることなく、さらに存在価値を高めていっていただきたい。</p> <p>◆保護者評価をもとに正確な自己評価をされているように思います。「清教幼稚園を勧めたいと思う」で10件のマイナスコメントをいただいたということですが、保護者の反応の厳しさを強く感じました。改善目標でAが比較的少なくかつDが多い項目を重点に当てておられます。2022年度の保護者評価を期待します。</p> <p>◆総合的には高い評価を得られており、評価が高かった項目は維持、発展させていくべきであり、コロナ禍という特殊事情や幼稚園を取り巻く環境の変化等により、予定どおりにいかないことや急な変更が避けたいこともあるだろうが、丁寧な説明により園児、保護者、教職員の理解と安心感を得る努力を心がけるべきだと思います。</p>	
項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	満足度	評価																																																																																																																																			
運営	保護者対応	78.2%	19.6%	1.8%	0.4%	94 %	S																																																																																																																																		
	安心感	73.3%	25.3%	1.3%	0.0%	93 %	S																																																																																																																																		
	保護者の要望	50.2%	40.0%	8.0%	1.8%	85 %	A																																																																																																																																		
	情報共有	78.7%	19.6%	1.8%	0.0%	94 %	S																																																																																																																																		
	ケガの対応	75.6%	22.7%	1.3%	0.4%	93 %	S																																																																																																																																		
	相談対応	61.3%	32.9%	5.3%	0.4%	89 %	A																																																																																																																																		
	重要事項の説明	61.3%	35.1%	3.1%	0.4%	89 %	A																																																																																																																																		
環境	園内美化	73.8%	25.3%	0.4%	0.4%	93 %	S																																																																																																																																		
	設備の充実	63.6%	34.7%	1.3%	0.4%	90 %	S																																																																																																																																		
	安全環境の維持	68.0%	29.8%	1.8%	0.4%	91 %	S																																																																																																																																		
子育て支援等	個人情報の取扱い	78.7%	19.6%	1.8%	0.0%	94 %	S																																																																																																																																		
	広報（HP）	77.3%	20.4%	2.2%	0.0%	94 %	S																																																																																																																																		
	園だより	72.9%	20.4%	5.3%	1.3%	91 %	S																																																																																																																																		
	ホームクラス（2・3号）	64.2%	33.0%	1.8%	0.9%	90 %	S																																																																																																																																		
	課外教室	45.8%	33.8%	15.6%	4.9%	80 %	A																																																																																																																																		
	子育て支援	72.7%	20.5%	0.0%	6.8%	90 %	S																																																																																																																																		
入園への推奨	61.8%	30.7%	6.7%	0.9%	88 %	A																																																																																																																																			
<p>&lt;分析&gt; 実施したアンケート評価は高い評価を得ているものの、そこからさらなる改善策を探り出すため分析したものである。</p> <p>○運営：幼保連携型認定こども園としての運営は、初めてで課題は残るものの、総合的な満足度は高く、子どもを安心して預けることができると評価されている。今後、さらなる保育の充実と安定した事業運営を行っていく。</p> <p>○環境：全体的に高評価をいただいている。設備面では一部トイレの改善等があげられているため、投資案件として検討を進めていく。</p> <p>○子育て支援等：コロナの影響により、開催頻度が少なかったものの、参加した方々からは高く評価されており、開催回数を増やして欲しい等ご要望をいただいている。次年度、調整し進めていく。</p> <p>○教育・保育：次項「3. 本年度の取組内容及び自己評価」を参照</p>																																																																																																																																									

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	自己評価	評価指標																																																																																																		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">教育の質的向上</p>	<p>①子どもの発達段階に応じた課題を理解した教育・保育内容の確立</p>	<p>●1～5歳児保育の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム作成と実施</li> <li>・通常保育の確立</li> </ul>	<p>・1～2歳児保育に関して聖愛保育園にご協力いただき、保育の見学や意見交換等を実施できた。保育カリキュラム（月案・年間案）は、未満児担当を中心に作成し、進めていくことができたが、クラス運営で保育者の役割分担等で戸惑うことが多かった。特に同じ年齢でもある2歳児（3号認定）と満3歳児（1号認定）クラスでは、カリキュラムの共有や調整が必要とされた。2023年度は、グループ保育の実施、確立に向けて進めていきたい。</p> <p>・以上児保育は、前年度までのカリキュラムをもとに行い、順調に保育を進めることができた。</p>	<p>*表中の評価（満足度）は下記計算式から算出されたもの。 満足度＝1×A回答数+（2/3）×B回答数+（1/3）×C回答数+0×D回答数 *評価 A,B,C,D は右記により算出（100%満点 90%以上 S 評価 80%以上 A 評価 60%以上 B 評価 40%以上 C 評価 40%以下 D 評価）</p> <table border="1" data-bbox="1295 537 2047 1130"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>A (%)</th> <th>B (%)</th> <th>C (%)</th> <th>D (%)</th> <th>満足度</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通園欲求</td> <td>64.4%</td> <td>28.4%</td> <td>7.1%</td> <td>0.0%</td> <td>89 %</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>こども同士の人間関係</td> <td>60.0%</td> <td>36.9%</td> <td>3.1%</td> <td>0.0%</td> <td>89 %</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>給食の質</td> <td>54.7%</td> <td>40.0%</td> <td>5.3%</td> <td>0.0%</td> <td>87 %</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>たくましさ</td> <td>69.8%</td> <td>28.0%</td> <td>2.2%</td> <td>0.0%</td> <td>92 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>キリスト教保育</td> <td>55.6%</td> <td>40.0%</td> <td>4.4%</td> <td>0.0%</td> <td>88 %</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>美術教育</td> <td>77.8%</td> <td>20.0%</td> <td>2.2%</td> <td>0.0%</td> <td>94 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>英語教育</td> <td>63.6%</td> <td>26.2%</td> <td>8.9%</td> <td>1.3%</td> <td>88 %</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>栽培活動</td> <td>47.1%</td> <td>39.6%</td> <td>12.0%</td> <td>1.3%</td> <td>83 %</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>社会性の教育</td> <td>63.1%</td> <td>33.8%</td> <td>3.1%</td> <td>0.0%</td> <td>90 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>安全教育</td> <td>68.0%</td> <td>29.8%</td> <td>1.8%</td> <td>0.4%</td> <td>91 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>信頼関係</td> <td>81.3%</td> <td>16.9%</td> <td>1.8%</td> <td>0.0%</td> <td>95 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>72.0%</td> <td>26.2%</td> <td>1.3%</td> <td>0.4%</td> <td>92 %</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>個人の理解</td> <td>72.0%</td> <td>24.9%</td> <td>3.1%</td> <td>0.0%</td> <td>92 %</td> <td>S</td> </tr> </tbody> </table>	項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	満足度	評価	通園欲求	64.4%	28.4%	7.1%	0.0%	89 %	A	こども同士の人間関係	60.0%	36.9%	3.1%	0.0%	89 %	A	給食の質	54.7%	40.0%	5.3%	0.0%	87 %	A	たくましさ	69.8%	28.0%	2.2%	0.0%	92 %	S	キリスト教保育	55.6%	40.0%	4.4%	0.0%	88 %	A	美術教育	77.8%	20.0%	2.2%	0.0%	94 %	S	英語教育	63.6%	26.2%	8.9%	1.3%	88 %	A	栽培活動	47.1%	39.6%	12.0%	1.3%	83 %	A	社会性の教育	63.1%	33.8%	3.1%	0.0%	90 %	S	安全教育	68.0%	29.8%	1.8%	0.4%	91 %	S	信頼関係	81.3%	16.9%	1.8%	0.0%	95 %	S	公平性	72.0%	26.2%	1.3%	0.4%	92 %	S	個人の理解	72.0%	24.9%	3.1%	0.0%	92 %	S
	項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	満足度	評価																																																																																															
通園欲求	64.4%	28.4%	7.1%	0.0%	89 %	A																																																																																																
こども同士の人間関係	60.0%	36.9%	3.1%	0.0%	89 %	A																																																																																																
給食の質	54.7%	40.0%	5.3%	0.0%	87 %	A																																																																																																
たくましさ	69.8%	28.0%	2.2%	0.0%	92 %	S																																																																																																
キリスト教保育	55.6%	40.0%	4.4%	0.0%	88 %	A																																																																																																
美術教育	77.8%	20.0%	2.2%	0.0%	94 %	S																																																																																																
英語教育	63.6%	26.2%	8.9%	1.3%	88 %	A																																																																																																
栽培活動	47.1%	39.6%	12.0%	1.3%	83 %	A																																																																																																
社会性の教育	63.1%	33.8%	3.1%	0.0%	90 %	S																																																																																																
安全教育	68.0%	29.8%	1.8%	0.4%	91 %	S																																																																																																
信頼関係	81.3%	16.9%	1.8%	0.0%	95 %	S																																																																																																
公平性	72.0%	26.2%	1.3%	0.4%	92 %	S																																																																																																
個人の理解	72.0%	24.9%	3.1%	0.0%	92 %	S																																																																																																
<p>②働きやすさと働きがいと両立するキャリアパスの確立</p> <p>③幼児から児童までの子育てをサポートする総合施設の整備、運営</p>	<p>●発達課題のある子どもへの理解と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが落ち着く環境設定</li> <li>・子ども理解の研修受講</li> <li>・個別による保育教育</li> </ul> <p>●これまでの伝統を新たな枠組みで展開する教育技術の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムの見直し</li> <li>・保育技術研修の充実</li> </ul> <p>●園の安定的運営に資する採用と育成・定着のしくみの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新任職員への細かな配慮</li> <li>・他園の取り組みの情報収集</li> </ul> <p>●より効果・効率の高い人事労務制度の設定</p> <p>・保育、教育現場を観察し教職員の意見や思いを受け止め、必要な情報を収集し、その都度提供する。</p> <p>●1～5歳児保育、給食施設運用を通し、次年度へ向けた施設の運用方法を探る。</p>	<p>・集団での生活や友達と関わるのが難しい子ども達への対応やクラス運営などの工夫を作業療法士の巡回により、発達段階に応じたアドバイスをもらうことができた。</p> <p>・今年度は、未満児保育の確立に時間がかかったため、未満児から以上児までの縦のつながりを意識した保育計画を立てることができなかつた。次年度は、園全体の中で各学年の子どもたちの育ちや学びを踏まえたカリキュラムの見直しを図り、進めていくよう努めていきたい。</p> <p>・今年度、こども理解の研修は、定期的に行うことができた。その反面、保育技術を中心とした実践研修は少なかつた。次年度は、年間で計画し研修の充実を図っていきたい。</p> <p>・各教職員から業務内容に関する意見・思い等を聴取し、労務環境整備・改善のための材料としてきた。新任教員の育成をはじめ、教職員間の保育への思いや考えをすり合わせるために、教職員同士での話し合いの場を設ける必要性が明確となった。次年度は、時間の確保や配置調整をしながら、しっかりと情報共有できる場を計画し、作って行きたい。</p> <p>・非常勤教職員の社会保険加入に向けて、意向のある働き方ができるように事前に説明会を開き、一人ひとりが納得して働けるよう配慮することができた。</p> <p>・統括主任を新たに設けることで、保育について相談しやすい環境を作ることができ、より現場の意見を吸い上げることができるようになった。</p> <p>・今年度はこども園の幼保連携型移行に伴い、3号子どもの保育及び3階保育室の利用が始まり、保育内容の試行の一年となった。この経験を活かし、保護者との連携も含めてさらなる質の向上を目指したい。</p> <p>・自園給食を導入し、温かくおいしい給食に子ども達も満足している。また、自分たちで栽培した野菜を自園で調理し、食べてもらうことで食物への感謝を深めることができた。課題は、食材と食数のバランスをもっと調整できるように給食会社と連携し実施していく。</p>	<p>&lt;凡例&gt; 前段【自己評価アンケートの結果と分析】と同じ。</p> <p><b>【総合評価】</b> 幼保連携型に移行した初年度、初めての運用となる1～5歳児保育、自園給食の開始等、課題が残るもののイレギュラーに対し丁寧に対応し保護者からも満足していただける結果となった。</p> <p><b>【今後に向けて】</b> 上記運用の安定化とさらなる教育・保育の充実と働きやすい環境の確立を目指す。</p>																																																																																																			